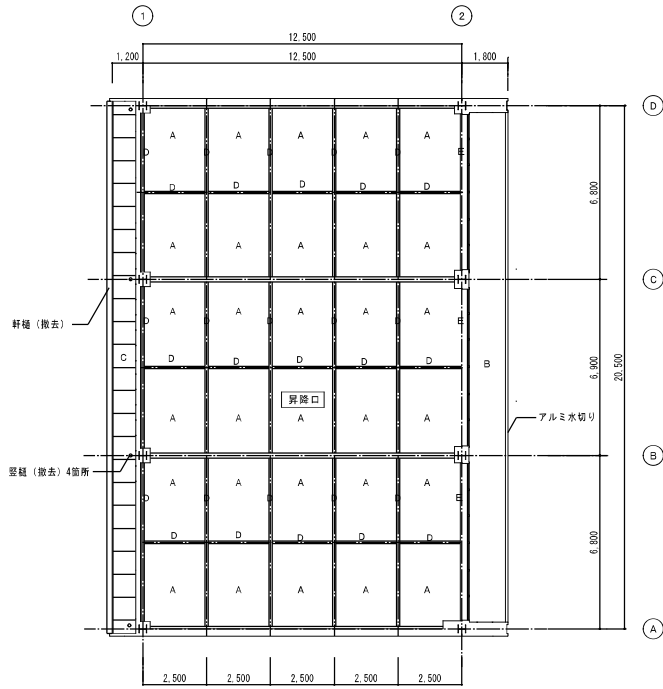


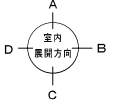
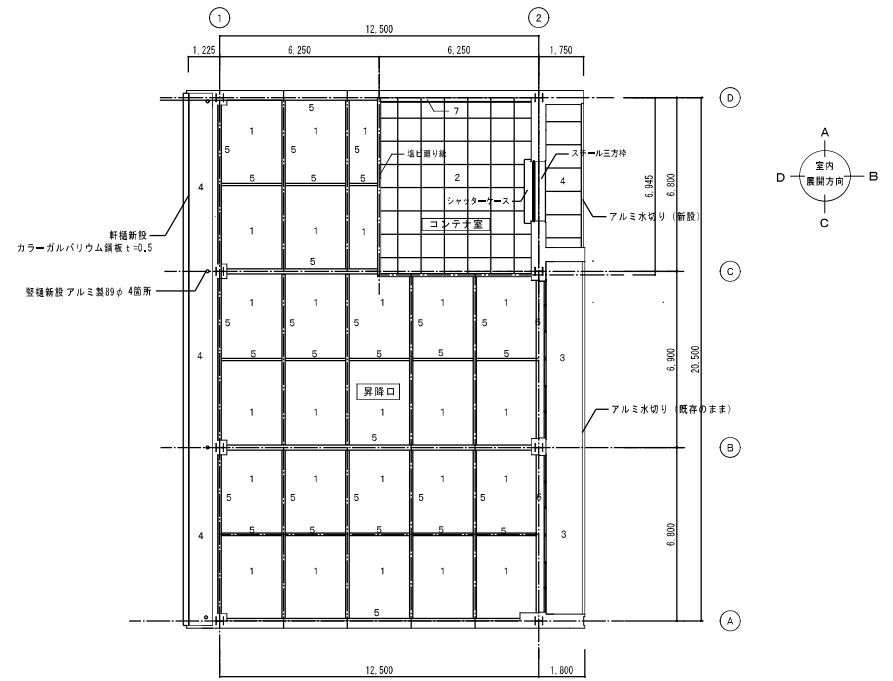
改修前 天井伏図 S=1/100

天井仕上げ材凡例			
部位	番号	材料	仕様
A	天井	A.L.C板	t=100 あらわし
B	軒天	アルミスパンドレル	t=0.8
C	軒天	フレキシブル板	t=4.0 EP (撤去、LGS下地共)
D	梁	H形鋼	あらわし OP塗り
E	梁型	石膏ボード	t=9.5 EP



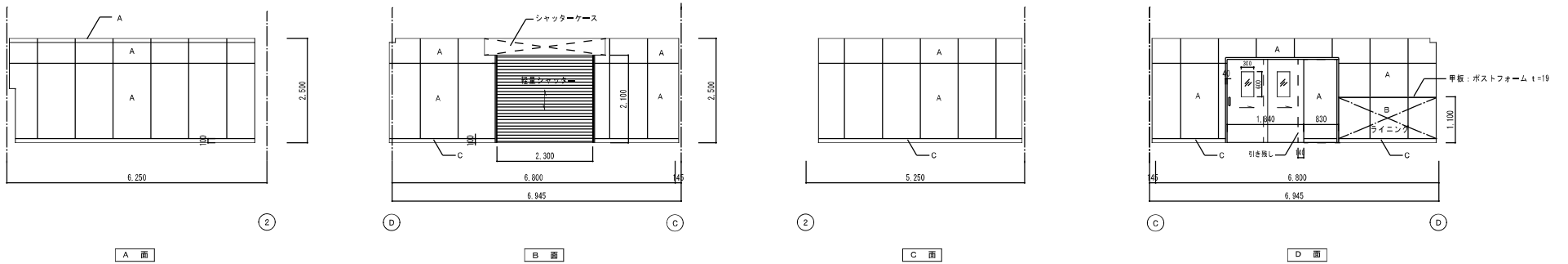
改修後 天井伏図 S=1/100

天井仕上げ材凡例			
部位	番号	材料	仕様
1	天井	A.L.C板	t=100 あらわし (既存のまま)
2	天井	化粧石膏ボード	t=9.5 (LGS下地新設)
		新素材: グラスウール	t=100 (24K)
3	軒天	アルミスパンドレル	t=0.8 (既存のまま)
4	軒天	ケイカル板	t=6.0 目隠し EP (LGS下地新設)
5	梁	鉄骨塗装	(既存のまま)
6	梁型	石膏ボード	t=9.5 EP (塗装替え)
7	梁型	シナ合板	t=5.5+石膏ボード t=12.5 目隠し CL



改修後 コンテナ室展開図 S=1/50

壁仕上げ材凡例			
部位	番号	材料	仕様
A	壁	シナ合板	t=5.5 目隠し CL + 石膏ボード t=12.5 下地
		新素材: グラスウール	t=30 (24K) 梱包
B	扉	カラーケイカル板	t=6.0 目隠し + ラワン合板 t=12 下地
C	市木	木製	H=100 CL
D	廻り縁	塩ビ廻り縁	



株式会社 竹村建築設計事務所
 長野市大字北長池 96-1 TEL 026(244)2951 FAX 026(244)2981

事務所登録 長野県知事登録 (長野) O 第82150号
 善光寺顧問建築士
 一級建築士登録 第251360号 竹村 利之

PROJECTOR

JOB MANAGER

DRAFTSMAN

DATE

R5.8.17

発注図

JOB NAME

国補 若槻小学校 南校舎外長寿命化改修建築工事

SHEET NAME

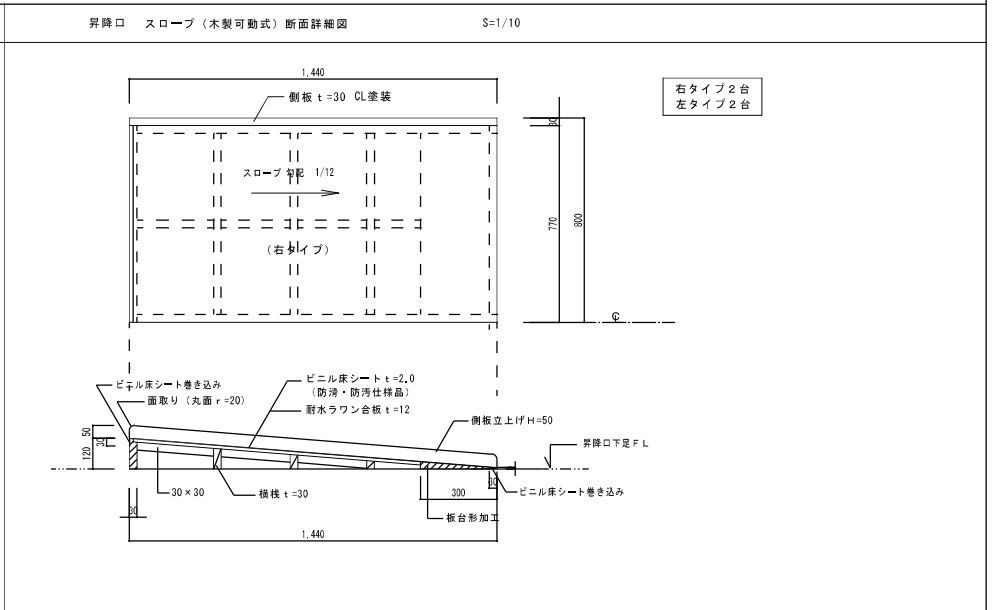
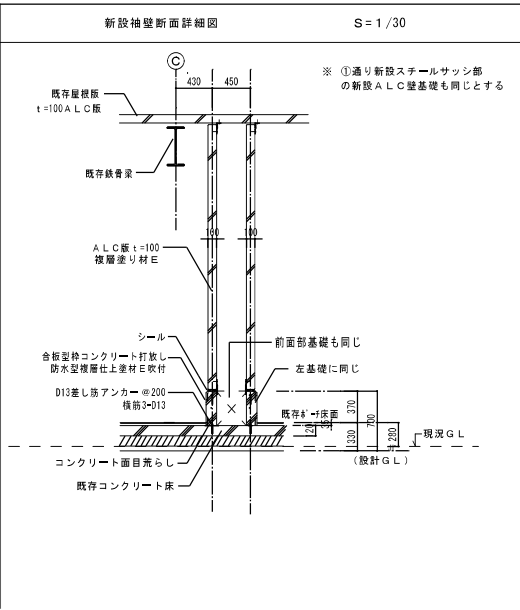
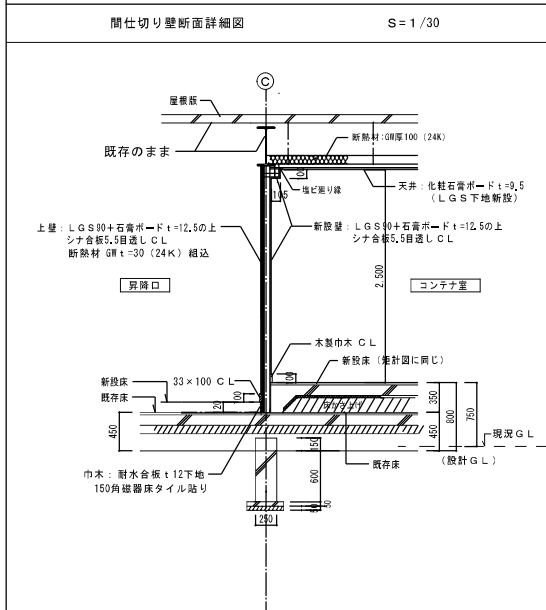
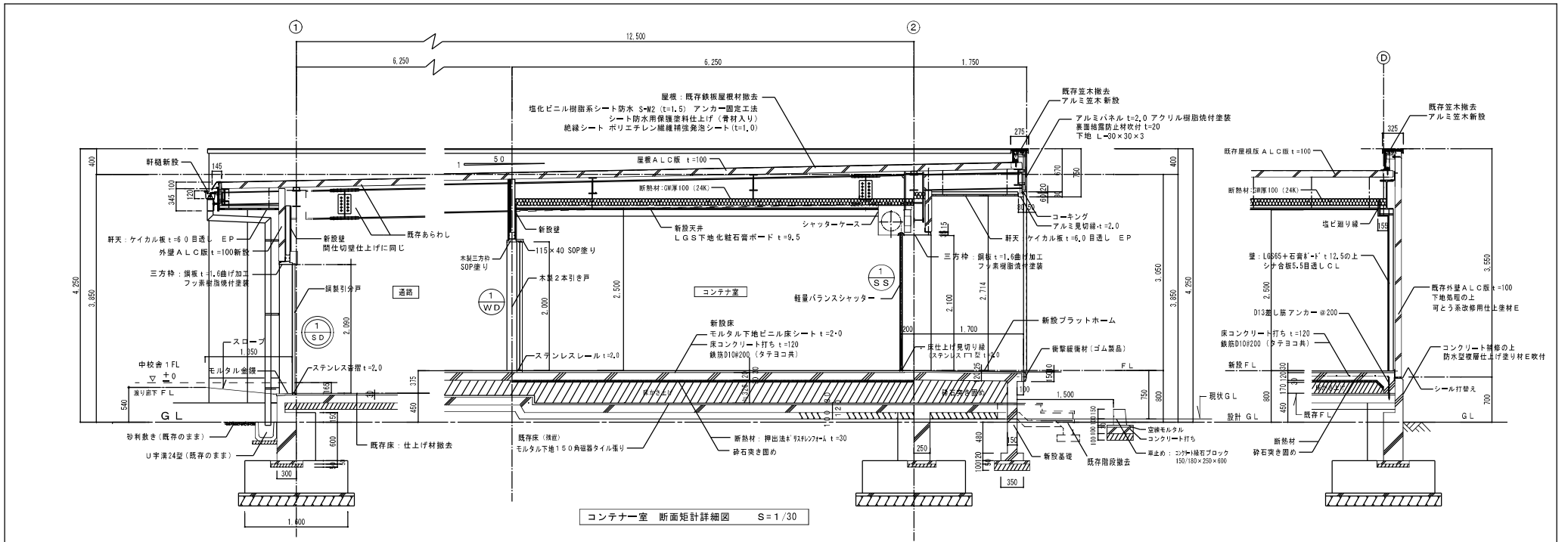
昇降口棟 コンテナ室 天井伏図・展開図

SCALE

A1 S=1/100 1/50
 A3 S=1/200 1/100

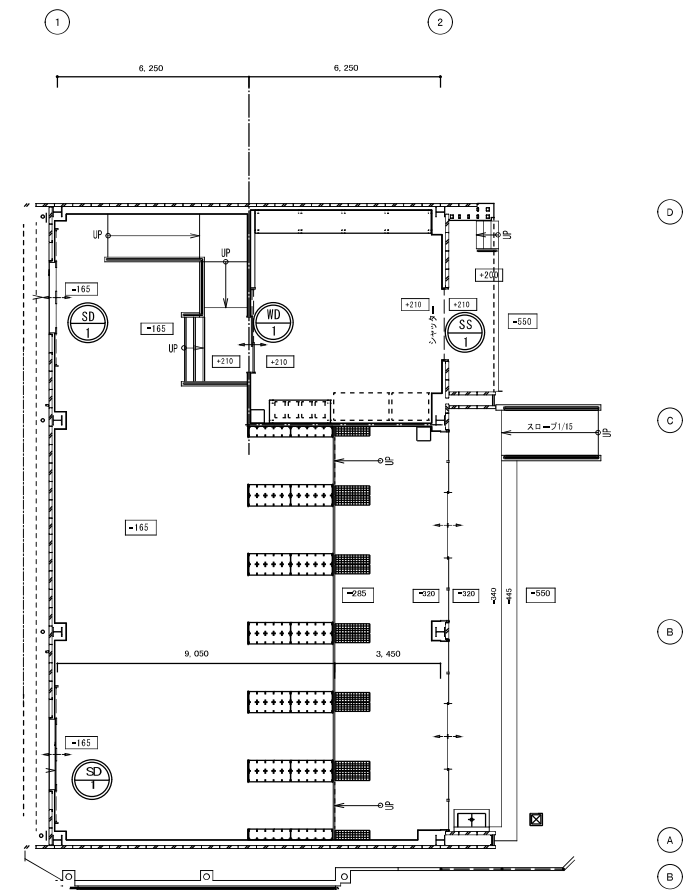
SHEET NO.

A-123



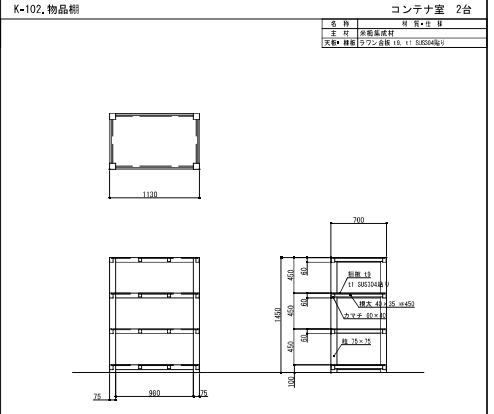
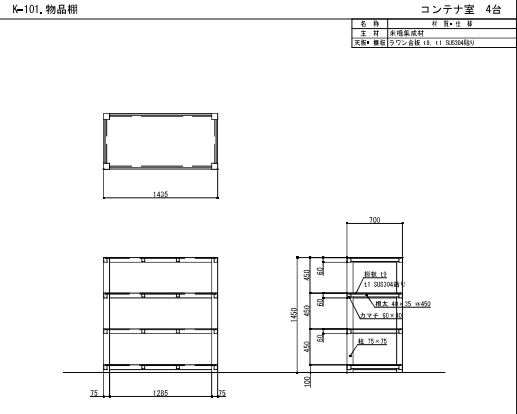
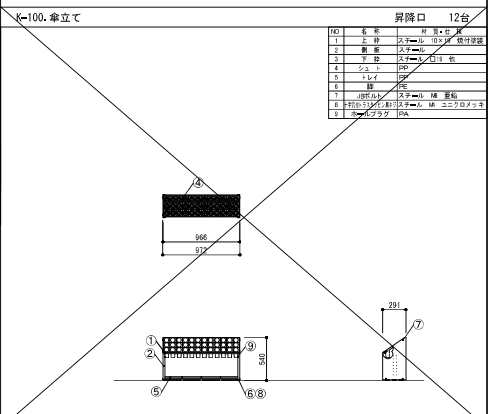
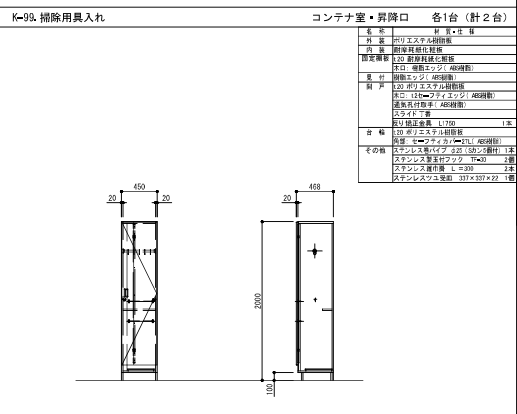
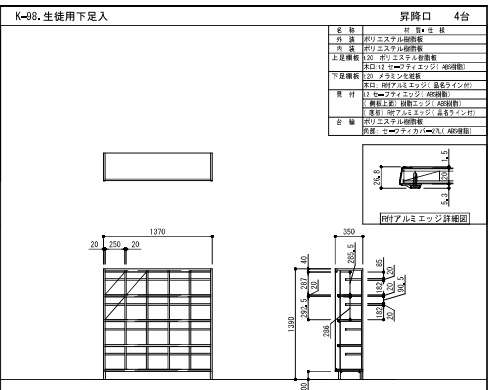
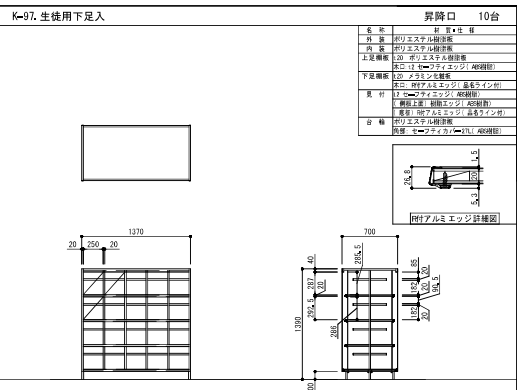
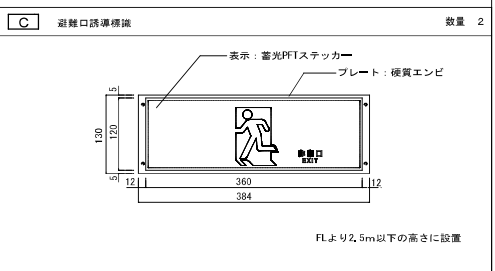
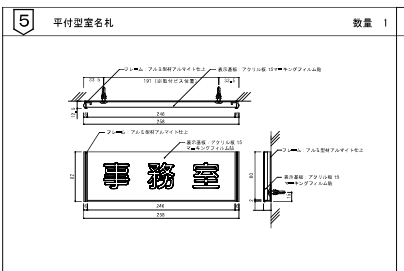
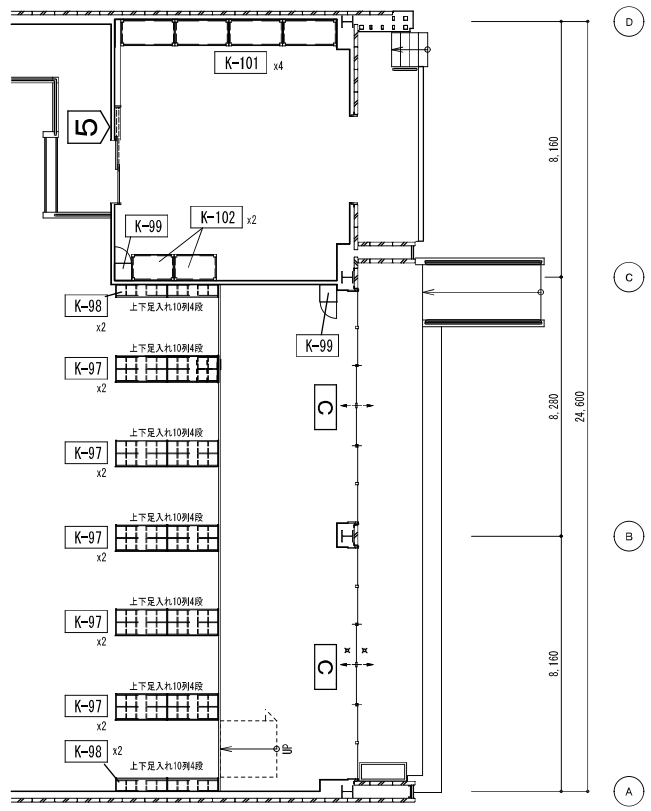
記号 取付力所	昇降口 【既存全撤去】	コンテナ室 【改修新設】
図面		
型式	アルミ引分戸付き連窓スクリーン	バランス式軽量シャッター
数量	1	1
見込	100	スラット t=0.6
材種・仕上	アルミ シルバー	スチール 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 (スラット・シャッターボックス)
補子	SOT 4.0	-
金物・備考	ステンレスレール、クレセント、巻線、付属金物一式	SUS建板、SUSレール、鍵、シャッターボックス、付属金物一式

記号 取付力所	昇降口 【既存全撤去】	昇降口 【改修新設】	コンテナ室窓出入口 【新設】
図面			
型式	アルミ4枚引込み戸	スチール製引分けハンガーフラッシュ戸	2本引き込み戸 (譲入り)
数量	2	2	1
見込	70	扉：36 枠：295	
材種・仕上	アルミ シルバー	スチール 扉：鋼板 t=0.6 SOP 枠：溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6 SOP	木製 4mmシナ合板 フラッシュSOP塗り
補子	FR 6.8	FR 6.8	3mm透明
金物・備考	ステンレスレール、クレセント、付属金物一式 巻線	SUS引手、錠前、SUS巻器、引き戸用ドロークローサー、付属金物一式	戸車、引手、万歳差し、シリンドー錠、ステンレスレール、付属金物一式



- 建具凡例
- ... スチール
 - ... 木製
 - ... スチールシャッター
 - ... アルミ

家具・サインキープラン



株式会社 竹村建築設計事務所
長野市大字北長池 96-1 TEL. 026 (244) 2951 FAX 026 (244) 2981

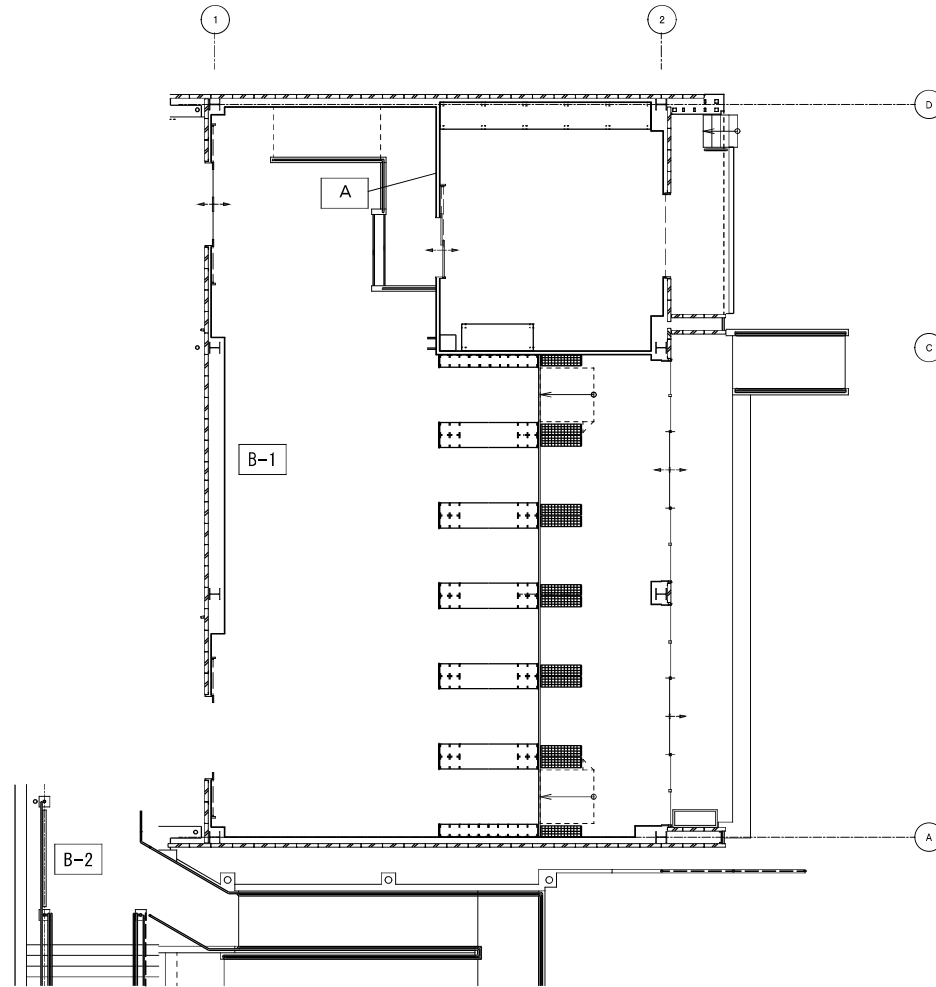
事務所登録 長野県知事登録 (長野) ○第02150号
普光寺顧問建築士
一級建築士登録 第251360号 竹村利之

PROJECTOR JOB MANAGER DRAFTSMAN DATE R5.8.17 発注図

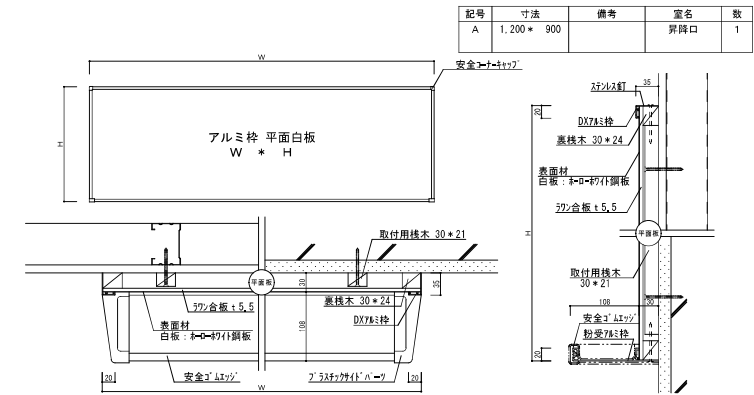
JOB NAME 国補 若槻小学校 南校舎外長寿命化改修建築工事
SHEET NAME 昇降口棟 家具・サインキープラン・家具図

SCALE SHEET NO. A-127

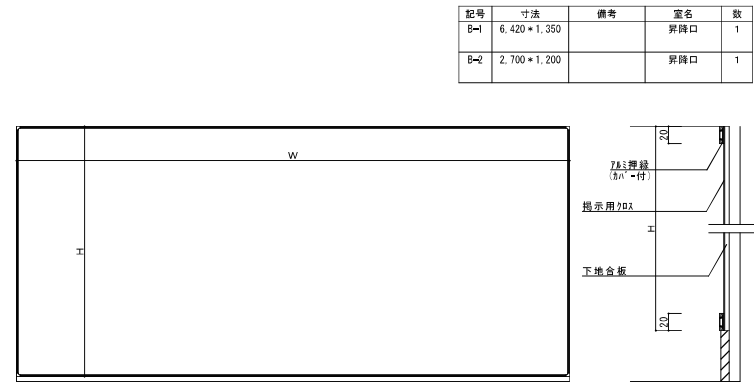
クロス・ホワイトボードキープラン



A アルミ枠 平面白板 1/4 × 1/20



B 掲示板 クロス張り 1/4 × 1/20



<黒板・ホワイトボード・掲示板共通仕様>

- 1、黒板・ホワイトボード・掲示板
黒板JIS規格 (JIS S 6007) 認定工場で作成する。
- 2、表面材
 - ・ホワイトボード：表面材は、ホーローホワイト鋼板を使用する。
表示文字、表示線、暗線などの表面仕様は監督員と協議の上、決定すること。
 - ・掲示板：表面材は特殊発泡クロスを使用すること。
表面材は色見本を提出の上決定する。
- 3、粉受：黒板消しまたはイレーザーが横に寝かせた状態で置けるものとする。
(有効寸法約80mm角ゴムエッジ付きのものとする。)
- 4、取付：取付壁・下地別に施工図を作成し、監督員に承認を受けて施工すること。



株式会社 竹村建築設計事務所
長野市大字北長池 96-1 TEL 026(244)2951 FAX 026(244)2981

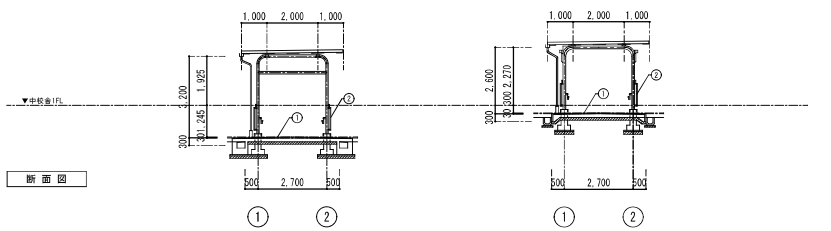
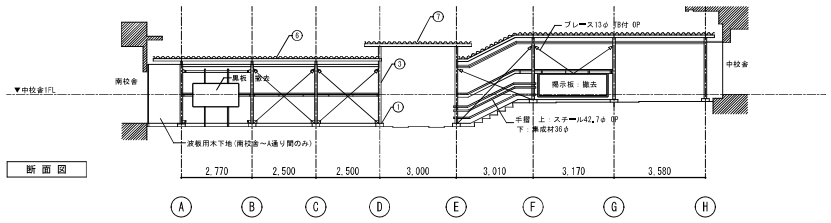
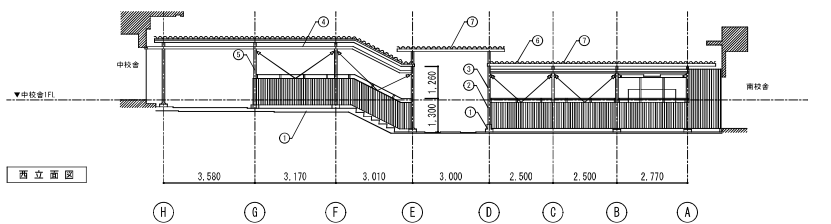
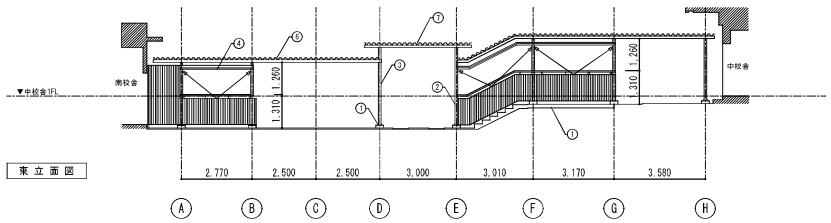
事務所登録 長野県知事登録 (長野) ○ 第82150号
建築士 第251360号 竹村利之
一級建築士登録

PROJECTOR JOB MANAGER DRAFTSMAN

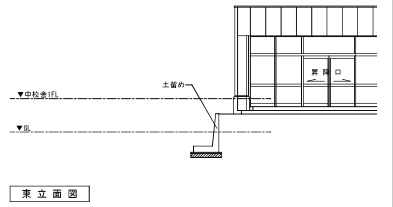
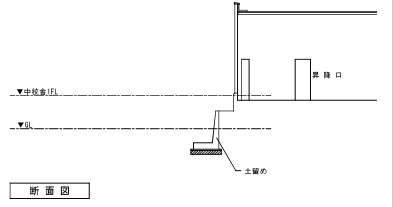
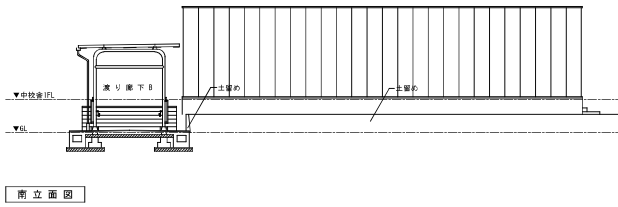
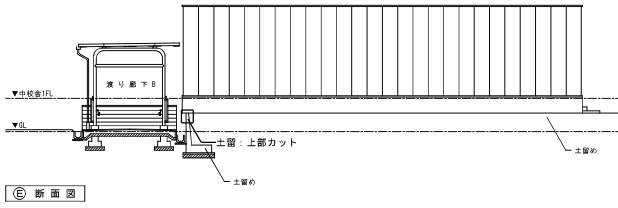
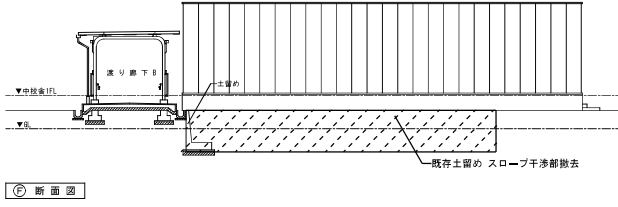
DATE
R5.8.17
発注図

JOB NAME 若槻小学校南校舎外長寿命化改修工事
SHEET NAME 昇降口横 クロス・ホワイトボードキープラン・詳細図

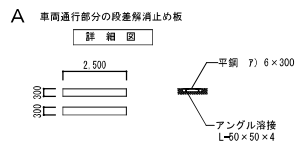
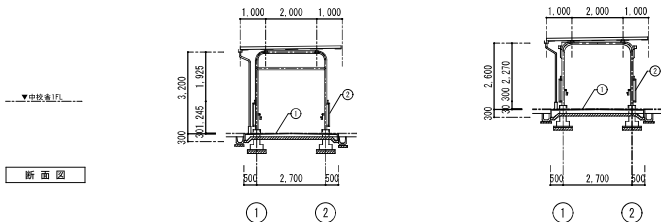
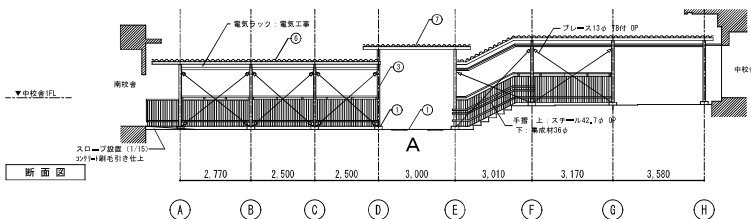
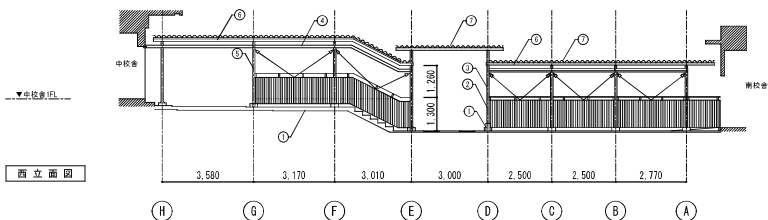
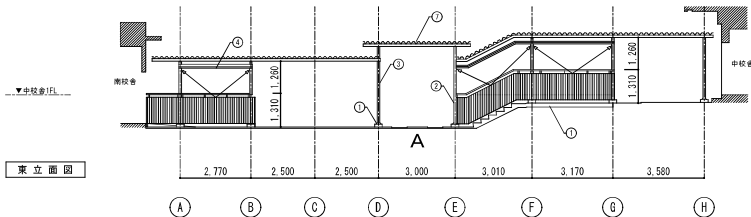
SCALE SHEET NO.
A-128



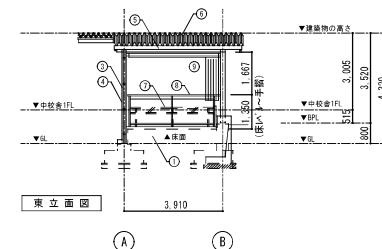
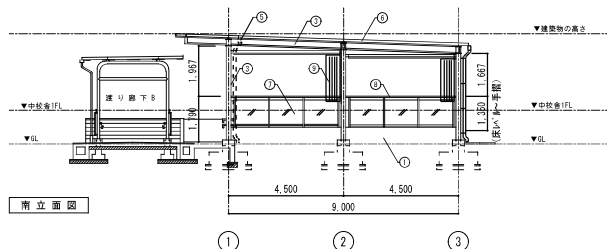
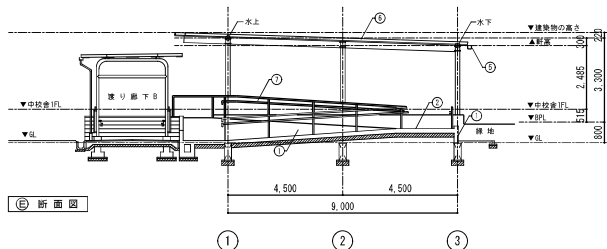
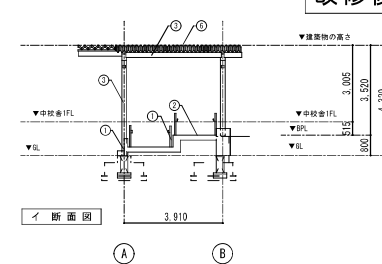
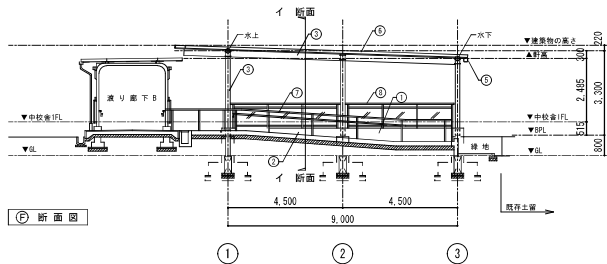
部位	特号	仕上材	部位	特号	仕上材
柱下・土間	①	改修前 モルタル・薄型型盛土	軒樋	①	改修前 カラー鉄板0.4t 102×80 屋根用塗料仕上げ(ケレン)
及び土間剥離	②	改修後 モルタル(既存)・無機系塗料仕上(塗替え)		②	改修後 カラー鉄板0.4t 102×80 シリコン樹脂系塗料
外壁	③	改修前 既存(既存のまま)	屋根	①	改修前 カラー鉄板0.4t 100所高置 屋根用塗料仕上げ(ケレン)
	④	改修後 既存(既存のまま)		②	改修後 カラー鉄板0.4t 100所高置 シリコン樹脂系塗料
柱梁	⑤	改修前 鉄骨15.0×15.0×2.0 鋼材上(ケレン)			
	⑥	改修後 鉄骨15.0×15.0×2.0 鋼材上(ケレン)			
ビニール	⑦	改修前 ビニールカーテン閉じ=0. ビニールカーテン 縦法			
カーテン	⑧	改修後 ビニールカーテン閉じ=0. ビニールカーテン 新設			
瓦葺	⑨	改修前 カラー鉄板0.4t 75φ 0P=仕上			
	⑩	改修後 カラー鉄板0.4t 75φ 0P=仕上			



改修後

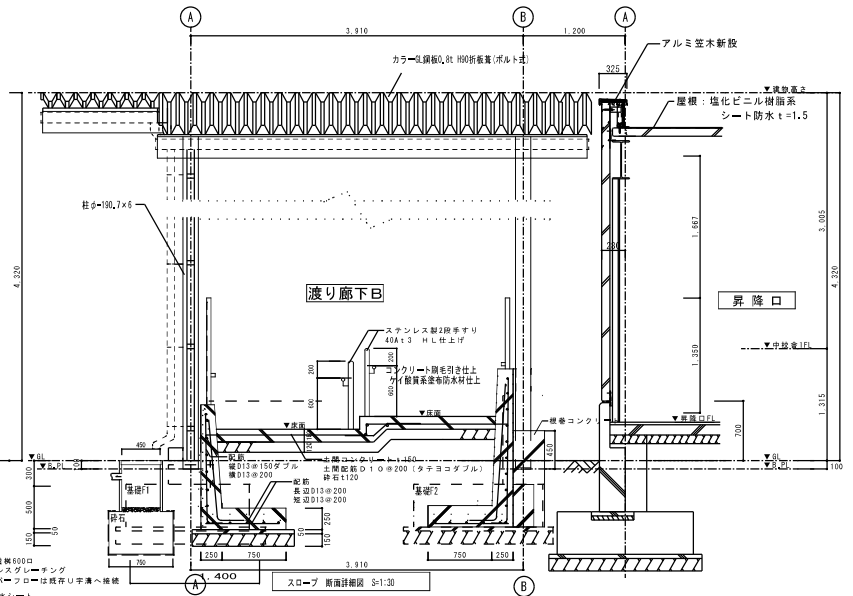
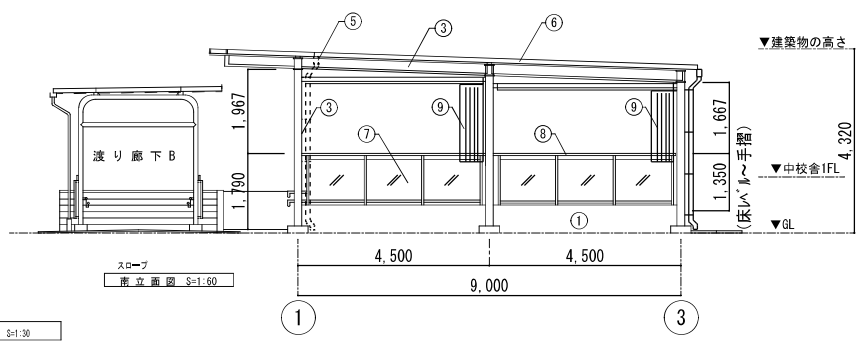
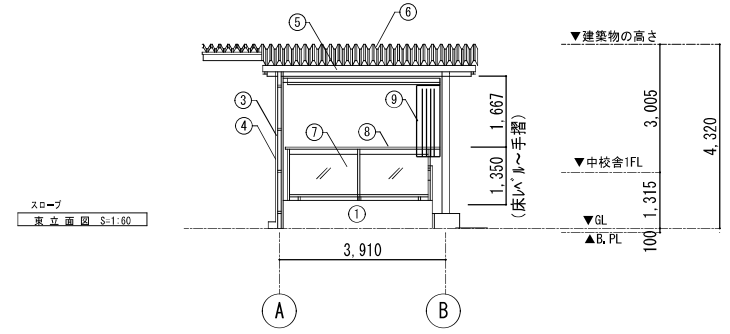
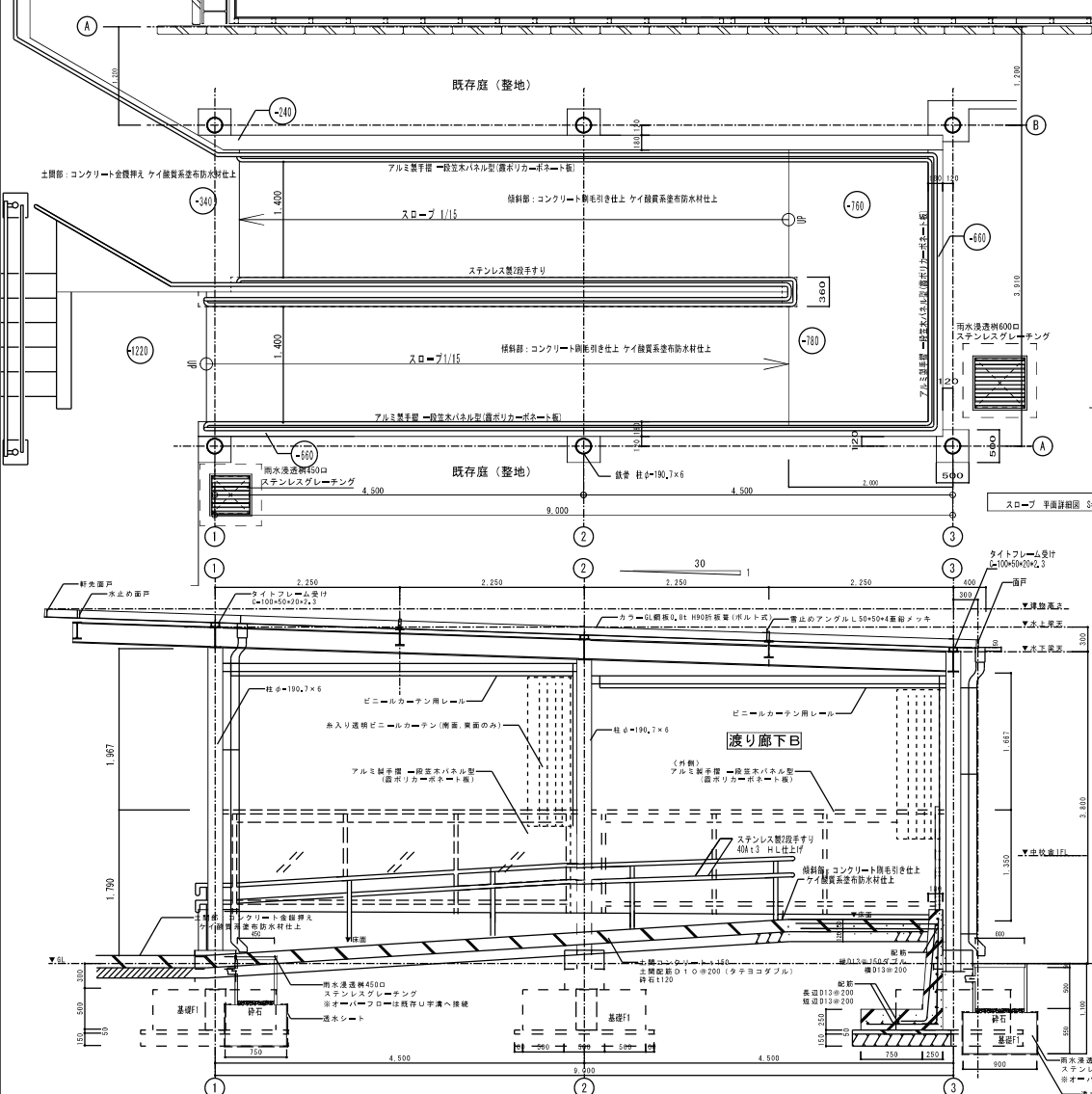


改修後



凡例(渡り廊下)				凡例(渡り廊下B 新設スロープ部分)				備考			
部位	符号	仕上材	詳細	符号	仕上材	部位	符号	仕上材	詳細	符号	仕上材
柱下・土間 及び土間掘削	①	改修前 モルタル・薄型型流し床土	軒種	①	改修前 カラ一鉄板L41 102×80 建築用塗料仕上	柱下・立上り	①	コンクリート打ち放し 外鉄骨系塗布防水材仕上	屋根	①	カラ一鉄板L41 102×80 建築用塗料仕上
	②	改修後 モルタル(既存)・薄型型流し床土 塗後のみ改修		②	改修後 カラ一鉄板L41 102×80 シリコン樹脂系塗布防水材仕上		②	平屋根 コンクリート金網系 外鉄骨系塗布防水材仕上 補修部 コンクリート削毛引き仕上 外鉄骨系塗布防水材仕上		②	カラ一鉄板L41 102×80 建築用塗料仕上
外壁	②	改修前 FRP波板(既存のまま)	屋根	①	改修前 カラ一鉄板L41 102×80 建築用塗料仕上	土間	②	鉄骨 DP-2仕上	手摺1	①	ステンレス製2段手すり
	③	改修後 FRP波板(既存のまま)		②	改修後 カラ一鉄板L41 102×80 建築用塗料仕上		③	鉄骨 DP-2仕上		②	アルミ製手摺 →設置ホタル型(固定リカ→ホタル1脚) 長150型または同等
柱・梁	③	改修前 鉄骨76.3φ×2.0φ仕上	柱・梁	③	改修後 カラ一鉄板L41 102×80 シリコン樹脂系塗布防水材仕上	階段	④	アルミ既製品 踏板 (固定金物)	手摺2	①	アルミ製手摺 →設置ホタル型(固定リカ→ホタル1脚) 長150型または同等
	④	改修後 鉄骨76.3φ×2.0φ仕上 塗後のみ改修		④	改修後 カラ一鉄板L41 102×80 シリコン樹脂系塗布防水材仕上		⑤	アルミ既製品 踏板 (固定金物)		②	糸入り透明ビニールカーテン(南面・東面のみ)
ビニール カーテン	④	改修前 ビニールカーテン用レール、ビニールカーテン 簡易	軒種	⑤	改修前 カラ一鉄板L41 75φ	⑤	⑤	アルミ押出型(既製品)	⑤	⑤	糸入り透明ビニールカーテン(南面・東面のみ)
	⑤	改修後 ビニールカーテン用レール、ビニールカーテン 簡易		⑤	改修後 カラ一鉄板L41 75φ DP-2仕上 塗後のみ改修		⑤	アルミ押出型(既製品)			

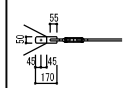
凡例(渡り廊下B 階段スロープ部分)			
部位	符号	部位	符号
柱下・立上り	①	コンクリート打ち放し・ケイ酸質系塗布防水材仕上	⑤
土間	②	平間部:コンクリート金網押入・ケイ酸質系塗布防水材仕上 縁側部:コンクリート珪毛引き仕上・ケイ酸質系塗布防水材仕上	⑥
柱・梁	③	鉄骨 DP-1仕上	⑦
窓枠	④	アルミ既製品 85φ (固定窓物共)	⑧
軒樋	⑧	アルミ押出管(既製品) 120×135	⑨
		アルミ既製品 一段窓木パネル型(露ボリカーポネト型) 取付150型または同等	⑩
		ポリカーボネート	⑪
		糸入り透明ポリカーボネート(前面、裏面のみ)	⑫



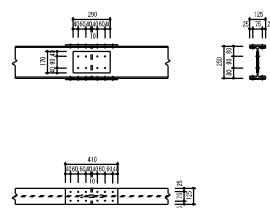
鉄骨大梁リスト S= 1/20 共通事項 特記なき限り鋼材種別は S400 とする。

階	符号	G250, CG250	
位置		全断面	
R 階		I	
主材		H-250x125x6x9	
フランジ		PL (9x) →2x125x410 HTB (4-4H16) x4	
ウェブ		MPL→6x290x170 HTB (4-4H16) x2	
仕口			

鉄骨小梁リスト S= 1/20 共通事項 特記なき限り鋼材種別は S400 とする。

符号	B150	B200	I	BR16
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面形状	I	I	C	
主材	H-150x75x5x7	H-200x100x5.5x8	[=]100x50x5x7.5	I-116 (7x) プラチナ (→2種特記)
仕口	GPL-6 HTB 2-M16	GPL-6 HTB 2-M16	GPL-6 HTB 2-M16	GPL-9 HTB 1-M16

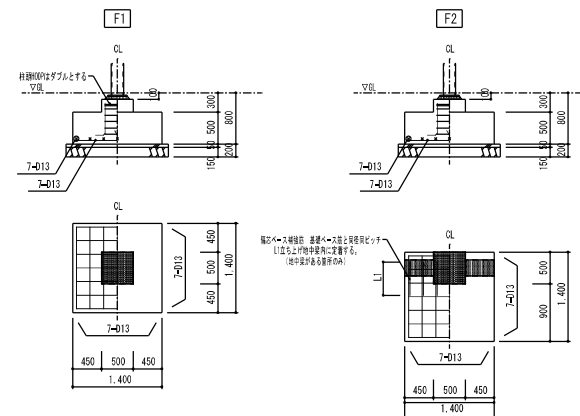
継手リスト S= 1/20

符号	G250, CG250	
接合	H-250x125x6x9	
フランジ	PL (9x) →2x125x410 HTB (4-4H16) x4	
ウェブ	MPL→6x290x170 HTB (4-4H16) x2	
継手		

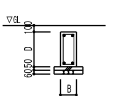
鉄骨柱リスト S= 1/20 共通事項 特記なき限り鋼材種別は S400 とする。

階	符号	C1	
1 階			
径		φ=150, 7x6	
BASE PL		PL=16x310x310 (SS400)	
基礎		H416 1-640ダブルナット締め (SMA492)	

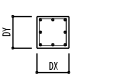
基礎リスト S= 1/40



地中梁リスト S= 1/40

符号	FG1, FG2	
位置	全断面	
断面形状		
BxD	250 x 500	
上端筋	2-D19	
下端筋	2-D19	
防振筋	□→10x200	
埋筋		
巾止メ筋		

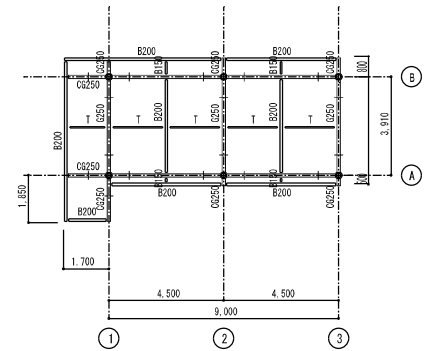
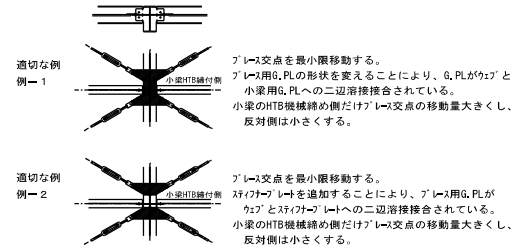
柱リスト S= 1/40

符号	C1	
位置		
断面形状		
DXxDY	500 x 500	
主筋	6-D19	
帯筋	□→10x100	

水平ブレース等のG, PL形状を決めるにあたっての注意事項

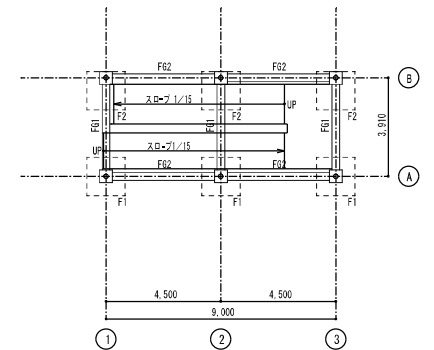
- ブレースのG, PLは、縦側の梁に取り付けることを基本とする。
 - G, PLの形状は、羽子板PL幅の延長範囲内をえぐり込まないように決める。
- 水平ブレース（屋根面ブレース）用G, PLがウェブ（梁せい中間）に付く場合、
 - G, PLは梁ウェブとスフィア（小梁用G, PL）の二辺を溶接接合できるように形状を決める。
 - この時、施工上の納まりの為、最小限の軸心交差のずれはやむを得ないとする。

G, PLを梁せい中間レベルに付ける場合



1階梁変位図 S= 1/100

単位は変位(下向き)による。
1. 水平ブレース 剛性 0.150 剛性比 0.100/200 ダブル



1階床変位図 S= 1/100

単位は変位(下向き)による。
1. 土間コンクリート 1:150 剛性比 0.100/200 ダブル
2. 地中梁天端 CL=400

